

令和4年4月13日（水）に開催した令和4年度第1回公立大学法人静岡文化芸術大学役員会の結果は次のとおりである。

1 議案

(1) 専任教員の採用について

ア 趣旨

事務局から、令和5年4月1日付け採用予定の専任教員6名の内、4名の採用募集を行う旨説明があった。いずれも昨年度退職した教員の後任である。残りの2名については次回の役員会で審議予定である。役員会の議決の後、公募を開始し、10月、11月の役員会で採用候補者の審議・決定を行う予定である。

イ 主な意見・質問

・デザイン学科の「インターフェイスデザイン」や「パッケージデザイン」の応募資格に「博士の学位を有すること」または、「修士の学位を有し、10年以上の実務経験を有すること」とあるが、このような実務的な分野でこの条件に合致する人材はいるか。

→どちらの分野も修士課程まで修了している方の応募は多い。また、本学は今後博士過程の設置を目指しており、デザイン研究科も新しい分野を切り開いていける人材が必要である。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

(2) 受託事業について

ア 趣旨

事務局から、袋井市より委託された受託事業「令和4年度 袋井幸浦の丘プロジェクト運営支援業務委託」について受託したい旨の説明があった。

イ 主な意見・質問

特になし

ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

2 報告事項

(1) 令和4年度入学者選抜結果について

事務局から、令和4年度入学者選抜結果について報告があった。学部志願者数については全体として358人増加した。特に国際文化学科の後期日程の志願者の増加が顕著であった。入学者については県内学生の比率が41%と昨年度より1ポイント増加した。男女比については、男子が17%と昨年度より1ポイント増加した。

大学院入試については、文化政策研究科は定員10人に対して入学者5人と定員充足率1を下回った。デザイン研究科は定員10人に対して入学者12人であった。

(2) 令和3年度就職状況について

事務局から、令和3年度就職状況について報告があった。学部全体の就職率は96.5%で、昨年比約4ポイント増となり、昨年度のコロナ禍の落ち込みから一昨年度並みに回復した。

特に昨年度落ち込んだ芸術文化学科とデザイン学科の前年比約10ポイント増と伸びが著しかった。

以上